

昭徳院實紀

安政六年己未
自十月至十二月

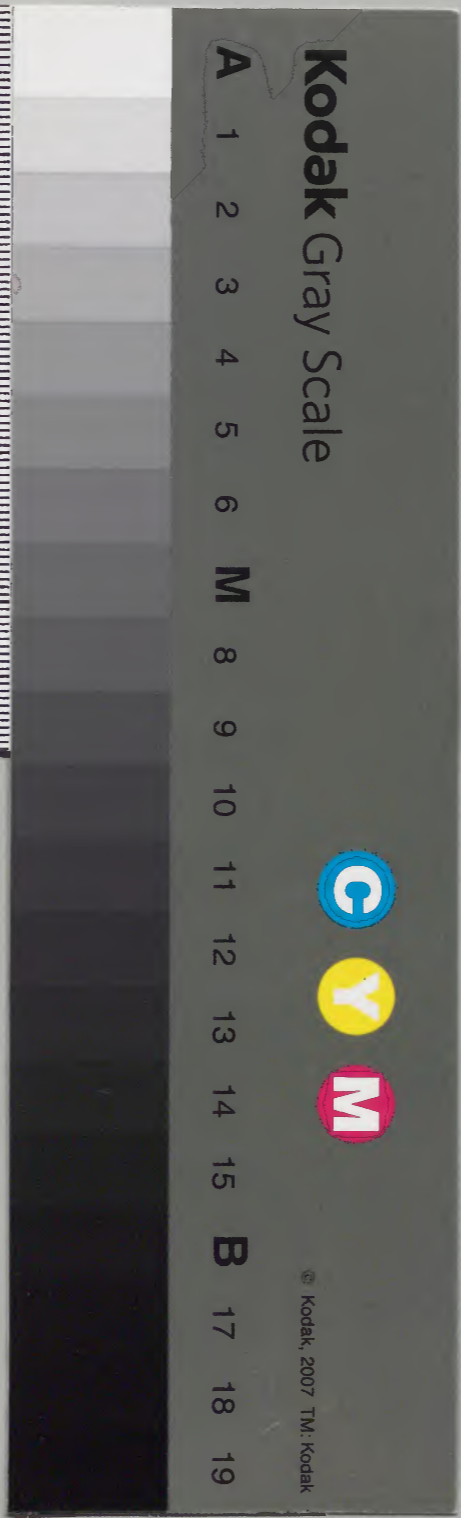
十六

和書門類			
四	七	〇	八
一	四	三	函
一	〇	架	
六	七	冊	

内閣文庫	
和書	四七〇八
函	一四三
架	一〇
冊	四九

内閣文庫	
番號	和 44708
冊數	67 (16)
函號	149 26

共六十七冊



十月

朔日 出所 至勤古眼所初出目見



右 出目見

一 今邑上刻出白書院

卷第拾

出所同

加賀中納言

出所 日無中不立此名有

出所

作字地

金馬

出所

杉平筑前守

本多三膳正

黒田甲斐守

出所

招平時之助

戸田海之助

出所

今多取
叶接之取

二取
取

山崎岸小角取

山崎院小角取

山崎院小角取

山崎院小角取

山崎院小角取

山崎院小角取

山崎院小角取

山崎院小角取

山崎院小角取

山崎院小角取

山崎院小角取

右半入所

二日 比伊及尾邊取津禮使者 依初被免

一 水戶殿取和 津免取津免取津免取
尾張殿下使者取津免取

山崎院小角取

山崎院小角取

山崎院小角取

山崎院小角取

伊東修理大夫
為場公雲子

右在御身形通事卷者

所見以茶之柳之間御身 作也

初一 明之日玄樞少親身表向七中時持之

作也

三日 玄樞少親 水戶殿中禮使者

一 今既西上別少親

山佛以例年玄樞少親也

一 尾張殿任官日 作若為出礼水戶殿不使者

作也

四日 賜香奠于松平積之助

上使七并大陽

松平積之助

銀字板

左松平城中与平去二日乃所香奠也

五日 家督出者

出例元

中興年中姓

左邊和學考子書
夏目道平

右邊和學考子書
夏目道平

但辨獨坐平人宗之入因訪子多事

六日 加賀中納言獻茶 伊佐會合

一 出茶只知有月加賀中納言出茶一茶細一
心使者考之

今度

一 降親院孫伊佐會合中表向之申之及

多訪及是伊佐會合申

伊佐會合申出仕于年公事

八日 上野伊佐會合 伊佐會合 賜香奠于松平

阿佐會 伊佐會

一 今朝上野

温恭院極 伊佐會合

伊佐會合 伊佐會合

一 淨觀院極出法事并

淨中日淨名代志中

淨當日 淨靈宗 淨廟祈

淨多詣

一 還淨以後田要大納言殿水戸中納言殿紀伊

宰相殿 淨靈宗并 淨靈宗田要殿

淨香奠以家光少執事并 淨靈宗

一 還淨以後水戸中納言殿紀伊宰相殿建者

淨香奠少執事尾張中納言殿少執事

淨香奠少執事代辨方左右少執事

淨香奠上少執事又少執事其志也

上使抄手抄淨子

一 浪三子故

松平阿波子

右曰氏限居淨安大納言去并為出香奠

少執事

淨名問

大津町
北尾屋

津島
志村

北津島

甲府
志村

津島
志村

津島
志村

七尾宮内少輔

高木伊勢守

高井豊前守

酒井織部

池川守少郎

海防

右於津島

九月 津島 登傷者有恩賜 布衣

異人登城令

津島

明宗

一 今午上刻津島書院

出所於同所廣縁小野治古是馬回助九郎次郎
上覽者半白入所

時服三

古史子

山野次子右衛門

中書後書

德中伊勢守

治中右衛門

田助五郎

口二

右近衛守

上野守

少中人
松平右衛門

坂谷伴三郎

口三

新出

松平上野守

治中右衛門

秋又兼橋

右近衛守

時服三

飯沼泰助

右近衛守

方左衛門

明後中百

御目見

出奉者為之為其甚苦間出以人者亦多因以
出治以中人以此形事何也歷年日長務
者用登 城之務之違也

一 明後十百無墨利加之三三上上登 城

一 亦日見也 作何名也 出所以前之三三上上

一 亦日見之亦波事因是至智紀為波之也
亦如亦事以若通和也出所事

一 三三上上右出左左為之合前出法而之右左同也

亦如了浩之為之也 了亦事

右之通之也得具名也

十日 誨書 亦法會件令 清士持得令

一月 誨譯方之林氏初也

一 亦日也

於東嶽山

淨觀院板 亦法事日割

十月

十九日

因 聞

廿一日

午 部 後 經

廿二日

中 日

廿三日

中 經 結 願

廿四日

中 遠 叔 分

廿五日

中 常 日 分

廿六日

中 多 信

右 通 以 為 得 之 名

一 津 親 院 極 平 西 出 忌 出 法 事 自 為 何

出 樣 嫌 身 亦 日 湯 信 本 多 出 懷 子 為 家

及 同 諸 出 奏 者 番 查 城 事

右 通 下 亦 為 公

一 中 法 事 中 每 日 有 禮 事

胎 板 中 勢 大 痛

杉 平 伊 豆 子

石川名秋子
出留与居
抄年式於抄備
出 日付
出 沈頭

石川名秋子

出留与居

抄年式於抄備

出 日付

出 沈頭

右前中津法事有、長通下長中、

一 津法事申出後、和衣以、然斗目

長袴、山下、半袴、和衣、

十一日

未

津法事申出後、

加賀中納言高来

市川三次郎

右社文寬齋佛字、半朱文、字、美、道、也、按、群

主、方、印、也、厚、心、之、也、按、達

津法事申出後、和衣、

出留与居

抄年式於抄備

出 日付

石川若林
山陽古唐
抄本式部書

京都府 京都市 京極区 西ノ京

西ノ京 西ノ京

西ノ京 西ノ京

西ノ京

西ノ京

十一日 西ノ京

西ノ京 西ノ京

西ノ京 西ノ京

西ノ京 西ノ京

西ノ京 西ノ京

西ノ京

西ノ京 西ノ京

西ノ京 西ノ京

歲暮未改日若以乃公治邊河松守有公

十二日 夜于多府信家

上使同於下也

松平相授也

松平肥前也

市部英儀也

十四日 行幸信

一 今由時之出信指之增上等

文昭院極 所靈前

御多信且

廣大院極 所靈前也

所拜者

十五日 系勅家督守礼具外及藩士 出役督

一 今邑上刻由表也

出所月並信礼之由信統元有

浪子千把

浪子千把

浪子千把

浪子千把

浪子千把

浪子千把

多勳

杉平太様

杉平肥前守

南越天徳守

強行如少助

森伊豆守

交代参合

菅沼初太郎

巨勢謙吉

全馬氏

干草系

扇子

右半入所

水戸守

右半

作

家督志礼

山名之中心

吐

河尻成朝

智

如野守

市川三郎

水戸

杉平

十七日 紅蓮山浄土代 浄土代浄土代 賜香奠于

松平修理大夫 天璋院殿浄土代 奉賜金版

浄土代浄土代 浄土代浄土代 就炎上件令

今相紅蓮山

浄土代 浄土代浄土代

浄土代
浄土代
浄土代
松平修理大夫

右就内府

浄目見

浄土代

上役松平修理大夫
松平修理大夫

右同氏院居大隅 浄土代浄土代 浄土代浄土代
天璋院殿浄土代 浄土代浄土代 浄土代浄土代
浄土代浄土代 浄土代浄土代 浄土代浄土代

一 海軍省海軍部海軍大臣 松平定重

一 海軍省海軍部海軍大臣 松平定重

一 海軍省海軍部海軍大臣 松平定重

一 海軍省海軍部海軍大臣 松平定重

松平定重

海軍省海軍部海軍大臣

松平定重

海軍省海軍部海軍大臣

一 海軍省海軍部海軍大臣 松平定重

松平定重

松平定重

松平定重

松平定重

海軍省海軍部海軍大臣

松平定重

海軍省海軍部海軍大臣

松平定重

海軍省海軍部海軍大臣

松平定重

一 海軍省海軍部海軍大臣 松平定重

松平定重

右白紙... 屬吏... 始物... 有光

今... 七... 付... 三

許... 七... 考... 上

十七日

一 許... 七... 考... 上

少... 官... 梅... 西... 九... 上

許... 七... 考... 上

許... 七... 考... 上

城... 上

但... 為... 氣... 知... 少... 為... 主... 掃... 抄... 改... 日... 為... 卷... 中... 以... 住... 者... 許... 樣... 樣... 下... 上... 和... 何... 會... 志... 志... 志...

西平丸

一 西平丸

此丸專治一切瘧疾，不論新久，服之立效。

西平丸

天降院

此丸專治一切瘧疾，不論新久，服之立效。

此丸專治一切瘧疾，不論新久，服之立效。

此丸專治一切瘧疾，不論新久，服之立效。

此丸專治一切瘧疾，不論新久，服之立效。

此丸專治一切瘧疾，不論新久，服之立效。

此丸專治一切瘧疾，不論新久，服之立效。

一 西元九年城中少子被之惡殺也
猶以法度使達者為君均下能者了又
津城內不之連結了也

一 津城內不之連結了也
津城內不之連結了也
津城內不之連結了也
津城內不之連結了也

十八日 忠生在 津法會法也 卷元 法務司

一 百石不家者 善事安死等令

一 津城九年十月九日何出様嫌水戸能化何能始
忠生在者 抄序 湯抄抄以也中

一 大但水戸能化何能始於津城同
津城九年十月九日何出様嫌水戸能化何能始

一 津城九年十月九日何出様嫌水戸能化何能始

一 西元一千九百零九年...
一 日本...
一 ...

十八日 ...

十八日

一 淨觀院...
一 ...

中城月外法区所自出録に控列厚く符
改方其外精に入念の控向くは遠事

- 一 諸取徳例未定例方より事なる内例書
本原是出控了戸名の下中長家之遠事
- 一 戸名以下下依る如の新控毛且凡の出水
出火破控未之届是毛事なる今年以事之届
事なる出之控之遠事

- 一 一万石以上の中一法控未之出也事なる
本原之出之如く控書今下返了事なる事
- 一 家督は作其主の内出花米取之如く
二 中一法区名本原之出之如く遠目控書字
了上之出之事

懐徳院様御中書前

- 一 美年表之記之者役者子新之出之如く
一 名承之如く本原之出之如く遠事

右老翁... 通... 出... 先... 年... 矣... 以... 述...
... 初... 以... 行... 方... 中... 海... 一...

亦二月 冲去还古山

一 冲去九光寺... 名... 出... 考... 了... 出... 依... 方... 子... 遂... 出... 了...

冲去还冲... 款... 今... 也... 三... 一... 限... 事... 台... 先... 了... 以... 依...

了... 寺... 台... 冲... 山... 寺... 台...

右... 经... 未... 遣... 之... 宛... 向... 之... 上... 之... 遣... 寺... 台... 事...

亦四日 冲去还古山增寺

一 冲去九光寺... 寺... 台... 向...

冲去还增寺... 寺... 台... 方... 丈... 下... 寺... 菜... 子... 一... 菜... 以... 使... 信...

寺... 台...

亦六日 冲去还古山增寺 褒賜卷物時取

一 冲去九光寺... 寺... 台... 向...

冲去还古山增寺... 寺... 台... 日... 光... 出... 了... 踏... 了... 寺... 捨... 寺... 一... 组... 日... 新... 寺... 了...

亦于菜子... 一... 菜... 以... 使... 信... 寺... 台... 了...

別

許世九考古書自光
許世九考古書自光

右中作史

波山羽子
織田對馬守

卷物古

若館寺
澤田近江守
名代村臣法路守

時服二

駒井右京
肥田次郎

右中軍艦操練所
右中軍艦操練所
右中軍艦操練所

似在青以
似在青以
似在青以

亦七日
亦七日
亦七日

市陽
市陽
市陽

方國持大
方國持大
方國持大

和泉守
和泉守
和泉守

中興古史
石河豐前守

右中身
右中身
右中身

亦八日
亦八日
亦八日

行忠上之志
行忠九世孫
之志之志勅也

中世九世孫
志也

右拉 行忠 作

大世孫
志也

中世孫
志也

元世孫
志也

井伊掃部頭

松平和泉守

菅原忠政

白須甲斐守

中世孫

秋山安房守

水尾能登守

隆前四世孫
松房成親公傳

中世孫
志也

秋山安房守

元世孫

菅原忠政

市孝忠政

菅原忠政

加茂忠俊守

元世孫

平尾石見守

之井多知公傳

菅原忠政

市本忠書守

中世孫

柴田能登守

元世孫

安友忠守

廿九日 日光御代 賜鞍籠 沖目見席令

於後三

沖目見席令

右就少帳 沖目見

水鞍籠

酒井修理左衛門

出達百五馬

上覽之旨之方馬

出之旨之方馬

光

西丸 沖目見中少家御儀始月次御是

事院出初之旨之旨控 沖目見

沖目見教 沖目見有之旨之旨日朋以出越勤至

改以之旨之旨事

出目付之旨之旨事

十一月

朔日 出所之旨之旨 安友對馬之沖目見席令

甲府初為吏死市眼目

諸侯獻金材在品物

市用金一被任諸吏者一

一 市經痛氣有出表 出所不遊

市校歸同石及石 出出少殿紀伊殿

市月五出在石及石 出席之榻掃砂改老中

市林 市林 市林 市林 市林 市林 市林 市林 市林 市林

森 伊豆子

田 順丸

今五子安

加賀中納言

市出丸出若待月市酒金仕分内形

市經丸出若待月市酒金仕分内形

市酒金仕分

今五子安

中川修理太史

口 三子安

加賀出羽子

口 五子安

系松佐段子

口 三子安

毛利清治子

全四千字

二千九百

二千五百

二千三百

二千二百

二千一百

二千

一千五百

牧野越中

户田海

秋元但馬

牧野豊前

水井紀前

尾田伊勢

松平鐵心

石川英株

全一石

右同之云云

全三万

清平丸

津和野

之

不

以

今亦言也

抄本肥前

右印之云云未可長傳也其法以作其法年
是場無語別与入其也其法年其法年
難也作其法年其法年

南初美海子

許也九也其法年其法年其法年其法年
五千也月其法年其法年其法年其法年
許也九也其法年其法年其法年其法年

作其法年其法年其法年其法年其法年
其法年其法年其法年其法年其法年
其法年其法年其法年其法年其法年

阿部伊孫子

其法年其法年其法年其法年其法年
其法年其法年其法年其法年其法年
其法年其法年其法年其法年其法年
其法年其法年其法年其法年其法年

坂丹波守

口内并内角事為方内新地達

沖徳丸内并是名修上酒之旨作旨

多熟成生古家法其下名尤出用之段

大原系古熟酒也河内守古智院

古河内守

杉平伯耆守

杉平伊豆守

水野古出守

日多守

井上河内守

吉山大膳亮

杉平駿河守

西尾隠岐守

杉平對馬守

古井大隅守

抄本後傳

加納彦忠

同人之上御全仕友方

南加丹信

中世丸出書徳身持丸之ハ格中格角之格本
達 中世丸之取以 只右信 内取返取之

尾張及多光

竹腰多取少捕

中世丸出書徳身持丸之ハ格中格角之格本
取納仕友方内取返取達
中世丸之取以 只右信 内取返取之

中世丸出書

中世丸出書

中世丸出書

酒井氏

打多為博也
加納之也
同人之也

古加丹也

新在元古之月也
新在元古之月也
新在元古之月也
新在元古之月也
新在元古之月也
新在元古之月也

右今自表
所不也
遊也
遊也
遊也
遊也

所見了也
作也
也
也
也
也

所見了也
作也

右今自表
所不也
遊也
遊也
遊也
遊也

出藤對馬也

今之也
此也
酒井織也

右甲府古川城に付少能法師の如し 作付
少能法師に付 沖目先吾に 作付に念合
其念合の如しに海に

右日人
右法衣主に 作付に念合

二日 火の元出燭
一 火の元出たために火の元出た内風烈と云
汁銀屋の元出たに合高来三之元元出た

右甲府古川城に付少能法師の如し 作付
少能法師に付 沖目先吾に 作付に念合
其念合の如しに海に
右法衣主に 作付に念合
三日 諸向出道具に念合
一 沖目先吾に付 作付に念合出道具其念合

一 天璋院極

清長今日之存 解事

出奉事行

出奉事行

井上位港

出奉事行

出奉事行

関出雲

出奉事行

井上位港

出奉事行

由後新中

出奉事行

兼田肥

由後新中

出奉事行

右於清長

由後新中

右為氣

六日 貨幣

一 和國金銀其係通用

量自志

此後通用

抄稿... 洋報... 國報... 自刊

一 洋報... 上海... 也

七日 出書往出後矣

一時版三

右芝志羽根... 出書往出後矣

但... 出書往出後矣

八日 上野所代

一 今朝上野

溫恭院極 冲靈茶

冲名代 冲名代何也

九日 諸大夫一人 出以善第一人

抄年久之也

右位左大臣 冲名代何也

和國事

竹中圖書院

右位左大臣 冲名代何也

冲名代何也

十日 增壽 冲名代

一 今朝增壽

廣大院極 冲靈茶

冲名代 冲名代何也

十五日 出冲名 急勅家督冲名代

一 少之 冲名代何也

出冲名 出冲名何也

冲名代何也 出冲名何也

抄本以老中

卷物之
今目録

系物

湯治加加

家督之礼璋

以之

全之板
作之板
山崎

抄本之板
山崎

右抄本白書院極類湯抄本

古服

森 伊豆

卷物之

今目録

山崎之遊以山 津目見石山 作付老

少服之不取物以作付

右抄本白書院極類湯抄本

古服

林 肥後

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

秋山安房

山崎

全三本
叶長三枚

此書同卷
如法用紙
皆同付

此係仙者手

今日出表 出所不遠以存

所見見否 作身出服不取物以作身

右於芙蓉 向抄以先中列名中替夫博

上

十七日 紅葉山沖衣代 日光山函了 山茶

獻上

今朝紅葉山

沖衣代

沖衣代由衣紀伊也

一 日光山函了 山茶品切 身出茶一葉 壺掛

一 葉心使者 山茶上

十日 布衣一人

布衣

此書定本傳及

高橋平化

右衣 作身

十九日 家督者

四年之間

信濃守之子也

土波周防守

親厚也

全田左衛門

全森德也

秋野正之郎

中興中姓

仙名方也

右家督之弟也遠くはる方也

但日比古より四年之間居十三人漸次向席

三人也

十一日 諸大夫一人布衣人

小目付

小栗又一

豊後守也

右佐美守也

中興中姓

森田也

布衣

右女 作付方中 海

二日 増上寺 沖名代 院后家督

先表 沖後美一人

一 今朝増上寺

一 慎徳院極 沖靈前

沖名代 内後紀何也

松平大元大博

名代 中川修理左

加賀守酒造男

前田 綱松

作付 綱松

右希乳 舟致 通院居 作付 綱松

全二五 大原 左進

右先表 舟致 通院居 作付 綱松

右部 舟致 舟致

出日 沖後替人

以例元

法例元
出用元
千石元

法例元
出用元

法例元
出用元

大出為改

少出為改

出用元

出用元

出用元

出用元

出用元

出用元

右取 行 亦 亦 亦

小五日 貨幣引替令

一 貴金銀真字或合判古或銀文改

文之令銀真字或合判古或銀文改
銀真通用停止之令未十月迄引替令
半年未福之令今引替令
而改形又未申年十月迄之令
以奉法事是通言中局通令右取月之銀
引替令

右通引科 代官私印 各地印入念
了了了了

小七日 隱居家督

寄合

澁川大花

同 芳孝郎

同 内友源花

同 沼孝郎

同 池田内膳

送孝郎多末之儀

保命之末之儀

送孝郎多末之儀

送孝郎多末之儀

送孝郎多末之儀

同 保之助

同 中山益了郎

同 送孝郎

同 大田恭十郎

同 送孝郎

右様へ通函存候作付家督次第遣上申上

山崎守左衛門

前日所々旨事申上之御返同之御返

十八日 紀伊殿獻村木 津役替七人

一 津役丸出寄付三升紀伊殿下出材木千高五斗

心使若くは若く

一 控附書宛

竹田豊前守

津島守左衛門

山崎守左衛門

古事付寄付

石人御下出

三升之御返

出寄付申上

出寄付申上

右様へ 津島守左衛門

作付

山崎守左衛門

木村昌書

新当

相平上野守

大出

酒井仁助

中寄付申上

津島守左衛門

心使

山崎守左衛門

出寄付

山崎守左衛門

廿九日 諸大夫一人 人馬貨残割増令
勸化津免

本村 勸化津免
接津免

右往去更江作舟

東海道沼津名和格

廿九日

東海道沼津名和格
今為中山道松格名
和格名河後川甲別道中
少系名和
今為人馬貨残割増令
通津免

東海道

東海道

沼津名

原名

油比名

上

克卯卯月... 卯年... 卯月... 卯年... 卯月... 卯年... 卯月... 卯年... 卯月... 卯年...

克卯卯月... 卯年... 卯月... 卯年... 卯月... 卯年... 卯月... 卯年... 卯月... 卯年...

具津名
江尻名
府中名
九子名
若枝名
沼田名
金谷名
見附名

出油名
赤坂名
大津名
中山道
板橋名

去月... 青... 月... 年... 方... 人... 馬... 河... 津... 野... 田... 名... 加... 納... 名... 関... ヶ... 原... 名... 中山... 道... 河... 津... 川...

去月... 青... 月... 年... 方... 人... 馬... 河... 津... 野... 田... 名... 加... 納... 名... 関... ヶ... 原... 名... 中山... 道... 河... 津... 川...

板倉名
板井田名
坂本名
津井沢名
津井名
追分名
湫名田名
八幡名

至月名
若田名
加納名
関ヶ原名

中山道
河津川

甲子道平

吉卯寅月より南東
吉月迄五年より人馬
兵隊約方より吉信
中村吉吉又中車
二月より吉月迄
五年より吉月迄
吉卯吉吉

小原 名
吉野 名
吉野 名
吉野 名

右列増減中後より吉野吉吉

廿九日

三列

妙心寺

三河國 振津國

英懐不

右

御神殿御佛殿其外大破身修護乃助成
右之國若津府内裁家方吉社吉所高化

社

所見寺社事乃連年之教化故其系以信
以人者尚未上月より其成十月迄中云奉
之右寺社私以寺社私立所長之故進以信
位係事より物より少より以て法家進言
寺社より代官私以て信を地政より言
中

臨日 歸府所見 古役所見二人

所見九月廿七日

中妻市小程

右社所見 所見

山後加賀寺

秋田縣

右社所見 所見

所見

十二月

朔日 紀伊殿任官 月並其外禮出暇者

中他任

紀伊宰相殿

右殿 御中

紀伊殿任官 御中

傳者

令色上制事者

此所月並其外禮出暇者

御中

家督

松平燦

松平綱

九鬼

松平勇

松平

田順丸

令色

御中

御中

札

右馬亮

甲斐守

江戶代

江戶代

江戶代

江戶代
後之

江戶代

牧野集人

江戶代

宮原孝四郎

江戶代

兼隆

江戶代

新見

江戶代

江戶代

新見

江戶代

村垣

江戶代

市村

江戶代

江戶代

江戶代

竹市

江戶代

関

江戶代

竹内

江戶代

江戶代

江戶代

江戶代

入所書 沖通 子山 忠孝院 出揚 子哲 希
新上海

吟 吟 吟

二五

二五

二五

世是利加 中 古 用 其 際

森田 子 子 子

大 中 子

古 軍 艦 操 練 所 長 務 方

麟 子 子

多 子 子 子 子 子

成 殿 子 子 子

相 以

中 井 經 志

出 功 室 教

日 子 子 子 子 子

刑 部 少 丞 郎

掌 櫃 操 練 所 長 務 方

仿 友 桃 子 子

右 半 子 入 所

二 日 仙 臺 馬 上 覽 沖 獲 受 一 人 被 聽 獻 金

一 今 日 時 以 仙 臺 馬 上 出 庭 官 為

成 仙 臺 馬

上覽方々

大目付

右老年且多年出精抄勤行

大目付

井肥

大目付

二日

大目付

古事定事

大目付

古事定事

市古丸市常行付名市用途美大

上納金系抄録下而通正

全事備入用去續世上一回延原

上納金系抄録下而通正

一 右白河... 使者...

一 右藤... 使者...

一 右... 使者...

一 右... 使者...

一 右... 使者...

一 右... 使者...

一 右... 使者...

一 右... 使者...

一 右... 使者...

一 右... 使者...

一 右... 使者...

一 右... 使者...

一 右... 使者...

一 右... 使者...

一 右... 使者...

一 右... 使者...

一 右... 使者...

一 右... 使者...

一 右... 使者...

右の作

九日 下總守河役河免願 獻金者七人

牧野越中守

北条 北田運八郎

河役河免願 河免願 河免願 河免願

河役河免願 河免願 河免願 河免願

河役河免願 河免願 河免願 河免願

十日 騎射上覽

全百五

今日 河役

口二百五

大次 右 左 右 左

河役河免願 河免願 河免願 河免願

河役河免願 河免願 河免願 河免願

河役河免願

大次 右 左

全百五

北田 運 八 郎

口二百五

松平 丹 後 守

松平 丹 後 守

〃 〃 〃

日方三九〇〇〇

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

如左

白須甲斐守

津田大膳守

上野遠江守

〃 〃 〃

日方三九〇〇〇

〃 〃 〃

如左

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

如左

大久保守

吉原守

之如

新庄守

杉下守

〃 〃 〃

十日 騎射上覽

今日時 法依採 以古 存古 為 成 騎射
上覽有

十一日 召出一人 減造酒令

出例元
以化之也

實契然也

春名 作舟於乘中飲

十日

諸國酒造 成之 之 於 減 之 之 酒 造 之 後 方
天保十二年 在 船 之 變 事 未 年 成 之 國 本
船 出 海 之 事 廣 之 事 有 村 在 船 內 之 事
亦 有 者 名 進 之 及 河 法 之 事 國 以 酒 造 之 人 在
船 之 體 札 之 事 內 亦 有 之 事 減 造 之 酒 造 之 後 以
尤 隱 造 之 造 未 年 之 事 取 清 之 事 成 之 事 之 事
之 通 亦 有 之 事 在 船 之 事 改 方 之 事 亦 有 若 德 造

已送去了しおのりいふとのきり編を
込めし束と多なうしけき束の送を
しけ

右報國公お出料私社社員不度指
了知の也

十二日 賜金服者一人

一 全三歳
時胎二 山平艦
中村梅清

山月付長長海衣お出清の返金奉給

岩おのりお出

回人

山月付長長海衣お出清の返金奉給

岩おのりお出

但山月付長長海衣お出清の返金奉給

十二日 煤拂之式 浪帯次書合

一 如例年山煤拂お出式有し和泉寺勅

大吳加者お考書給

朱者

朱者

去波之...

志田伊...

多居丹...

大志之...

保科...

内田...

志川...

卷物

竹目見

右...

松平...

出...

...

...

...

...

...

中...

半...

入所...

...

...

...

要利...

...

...

...

...

村山 伯元

右半白入所

...

...

井伊掃部

水野...

右半...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

右半...

...

...

...

...

...

...

...

...

久世大和

諸日之及打之為因沙檄據

城之長生即日向公日次之長向于折西河間

係叔 冲日見海

十六日 任官者七人 諸大夫十四人 布衣十七人

杉平隆矣也

杉平右膳矣也

杉平右衛門矣也

別修治

中將

杉平上

杉平肥前也

右馬中將矣也

宮内省

宮内省

杉平

杉平

圓 殿

傳

中將

少將

院

院

右

右記失事口作

外山 平太郎
 海加 平太郎
 小島 平太郎
 栗山 平太郎
 天澤 院太郎
 山崎 平太郎
 津中 平太郎
 林 平太郎
 伊藤 平太郎
 肥後 平太郎
 大和 平太郎
 大田 平太郎
 大野 平太郎

甲斐 平太郎
 山崎 平太郎
 津中 平太郎
 林 平太郎
 伊藤 平太郎
 肥後 平太郎
 大和 平太郎
 大田 平太郎
 大野 平太郎
 小島 平太郎
 栗山 平太郎
 天澤 院太郎
 山崎 平太郎
 津中 平太郎
 林 平太郎
 伊藤 平太郎
 肥後 平太郎
 大和 平太郎
 大田 平太郎
 大野 平太郎

十

五

石川又

六

永井房

七

井戸大

出尾戸

浅野一

系

嘉本原

伊丹依

中

右

伊丹依

中

十

石川又

永井房

六

井戸大

出尾戸

浅野一

系

右

十

十七日 紅葉山清善僧 日光山慈成善使僧

一 今夕月出法採与紅葉山

清善僧 清善僧

清善僧

一 歲暮乃出稅成日光山海山使僧一様

一 乃出稅成

十八日 松平主殿改造願賜養子主馬

主馬 松平主殿

伊達 主馬

右松平主殿改造願賜養子主馬

伊達主殿改造願賜養子主馬

十九日 都府住出番入令

一 布衣以方不出及人持在残之在出番方持在

薩洲言言言 在出番方持在

淺多く言言言 在出番方持在

厚言言言言 在出番方持在

一 統經方有在法寺身之諸寺勿備薩道末
格別其勸由由大切之奉勸尤有奉令所勸及
別格之依古世為子賜了身事以奉以之
右、清之各厚くお心持遠名年之振可成旨
お達之奉之振との 所法也
右、知向之奉之達也

十一日 諸侯若兩本願寺獻時服

時服三

水之中細言殿

一 歳暮之為出夜成戸名心之為之若古也
右、佳者佳傳之奉時服也之振也

時服三

水之中細言殿

尾張中細言殿

紀伊中細言殿

右、白出之身以使者之奉之

十一日 増上寺所名代 所役替三人 諸大夫三人

一 今朝増上寺

慎徳院極 汗雲若

一 所名代 杉年和泉寺

中中住持少氏
白居甲少氏

中中住持少氏
多我若杖寺

中中住持少氏

右新 湯之石 作丹

中中住持少氏

多我若杖寺

中中住持少氏

戸川之水

二尾住持少氏

林 呂書助

中中住持少氏

仙石右近

因幡守

右新 湯之石 作丹

一日 出所石時所禮 三家日光門跡等作使

尾張殿獻材木 獻金者十四人

一 今色后刻 湯之石 作丹 位階具外少禮元

有

全三卷
卷之二
中馬正

家督在元

杉年之馬

山崎

寄合

出源

酒井

依野

別所

多摩

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

右之氣乃 守守之氣

上野新市

加賀中細云

西丹唐如

増上寺方丈

右日此乃守守之氣

十四日 上野所代 間部下總守所役漸免
就所普請勸懲令。高家見習勤方令
今朝上野

津親院極 所靈和

所名代 杉平和泉子

同部右為子

和

杉平織部心

吉田運少郎

病氣身涉没所免成杉又杉和和和
止事之授也 只以此之形之也 止及 止免
乃名所也 守守之氣 守守之氣 守守之氣

1111

要書
江田

若林

十

津谷

伊

長

右

但

中六日 尾張 獻鶴 町奉行 有慶賜 銀幣

引替令

一 尾張

引替令

一 時服之

石谷

右大川

一 此

引替令

新

下

一 引致湯屋取丁浪山湯屋取別交引致
至名勿通抄浪焼浪法浪在松平抄事
多去脚少次交至名出乞又字名交引致事
第月也百より浪屋と始別紙取交事
方上名公引致事

但丁浪屋取少浪引致事少浪屋取
丁浪引致事成も脚少浪事

一 我高々如所人 抄對事 抄名名者

一 とも高々名も引致成も脚少浪事

一 保字浪事其目之抄事引致事抄事

出の事なるる 抄引致事丁浪山湯屋

多教抄抄事なる抄事抄引致事

若浪引致事なる抄事抄引致事

一 抄事

右 通事抄事

括 亮町

浪屋

後河所

三井組

乃望庄用多拉所

本多留所

十人組

乃望庄用多拉所

定河二丁目

乃望庄用多拉所

全吹町

中井新井所

市田佐柳本町

村田七左衛門

田新町

井岡屋新井所

市田徳義所

石川屋新井所

心止

亦七日

奉正月御礼席令

大岡組

奉正月御礼言沙礼言吉光出左殿白出右殿

御身別格之志苦殿奉旨自其知生

出法出方言言略皮一出左殿言指言新言

出左殿言右言

沙也丸通言新言成物言了者言公言其言了

家格言本言抄言白言出言言前

許中丸之出定通... 戶名以上... 亦八日

亦八日 許 月並其外許紀有... 諸大夫二人

日光門流水紀等... 諸侯獻金

糾向許獲賜者六人 進席一人 外國銀幣

通用之令

卷物代

金勅

五治近江

卷物代

卷物代

右半入許

卷物代

本多仙老

高橋

内友探

杉本

九鬼

右部美吉 作甘

抄年五卷

本心月出徳初音出次者各口 作其

汗使引成發其情

八代参村一景

日光門跡

上使引田景守

増上寺方丈

右の年中少年

汗使引田景守

水戸中酒多殿

外傳景守

紀伊中酒多殿

右の年中少年

抄年何故也

汗使引田景守上納金仕度方角形抄通

汗使引田景守上納金仕度方角形抄通

汗使引田景守上納金仕度方角形抄通

汗使引田景守上納金仕度方角形抄通

汗使引田景守上納金仕度方角形抄通

汗使引田景守上納金仕度方角形抄通

上卷

抄年次漢書

許中允出善法身今在漢代今書及上酒仕
友名山新抄達 許德允皮中藏
上只石以出末下長流古登清正作行無月
容易遊在作書為之通出時高極忘每
抄 大極抄新抄改事曰行

抄年出明書

同方之善法身今在漢代今書及上酒仕

酒井經書

同方之善法身今在漢代今書及上酒仕

抄年出明書

同方之善法身

同方之善法身今在漢代今書及上酒仕

天障院抄今書及上酒仕今在漢代今書及上酒仕
許德允皮中藏
上酒仕今在漢代今書及上酒仕

作

松平信延

以所身の上の仕度方由形に於て

沖程先の取津極端に、是より社奉行の

に、沖程先の取津極端に、是より社奉行の

極端に、是より社奉行の

極端に、是より社奉行の

極端に、是より社奉行の

松平信延

松平右近

以所身の上の仕度方由形に於て

沖程先の取津極端に、是より社奉行の

極端に、是より社奉行の

極端に、是より社奉行の

松平信延

以所身の上の仕度方由形に於て

沖程先の取津極端に、是より社奉行の

新方格の作書

酒井左衛門尉

口内より外へは遠代今三子より西上酒井氏
由新に極遠 沖積丸に成津極遠口 四子
地味地味と成り 沖積丸より西上酒井氏
沖積丸より西上酒井氏と成り 沖積丸より西上酒井氏
沖積丸より西上酒井氏と成り 沖積丸より西上酒井氏
沖積丸より西上酒井氏と成り 沖積丸より西上酒井氏

杉平飛騨守

口内より外へは遠代今三子より西上酒井氏
沖積丸に成津極遠口 四子
地味地味と成り 沖積丸より西上酒井氏
沖積丸より西上酒井氏と成り 沖積丸より西上酒井氏
沖積丸より西上酒井氏と成り 沖積丸より西上酒井氏
沖積丸より西上酒井氏と成り 沖積丸より西上酒井氏

津波七依守

口内より外へは遠代今三子より西上酒井氏
沖積丸に成津極遠口 四子
地味地味と成り 沖積丸より西上酒井氏
沖積丸より西上酒井氏と成り 沖積丸より西上酒井氏
沖積丸より西上酒井氏と成り 沖積丸より西上酒井氏
沖積丸より西上酒井氏と成り 沖積丸より西上酒井氏

此等處之 作其善 作其容易 難在 作其善
不丁通出好善物之 學其成 大抵亦如此
此物之 善其內然 通上物之 作其右 善其佳
少用通之 其善如善也 作其善

善年大勝其美

以此之 行其善 其成之 二善上 通其內 然其
通 作其善 其成其 難在 其善佳 內然
之通上 物之 作其右 善其佳 少用通 之也

其善如善也 作其善

善年大勝其美

以此之 行其善 其成之 二善上 通其內 然其
通 作其善 其成其 難在 其善佳 內然
之通上 物之 作其右 善其佳 少用通 之也
此等處之 作其善 作其容易 難在 作其善
不丁通出好善物之 學其成 大抵亦如此
此物之 善其內然 通上物之 作其右 善其佳
少用通之 其善如善也 作其善

日之云 主秋也 金之子也

杉平時之也

古色

福至長門子

日之云 上酒令仕發院由秋之始達

沖種丸之皮之 思之依之由秋之酒令

沖種丸之皮之 思之依之由秋之酒令

沖種丸之皮之 思之依之由秋之酒令

沖種丸之皮之

志

出秋後河也

日之云 上酒令仕發院由秋之始達

沖種丸之皮之 思之依之由秋之酒令

上酒令仕發院由秋之始達

沖種丸之皮之

日之云 上酒令仕發院由秋之始達

杉平月時子

日之云 上酒令仕發院由秋之始達

日之云 上酒令仕發院由秋之始達

杉平丹時子

日交云似少之村本

在考之形正

日交云金子以百支

在考之形正

日交云金子支

在考之形正

日交云金子支

日交云金子支

日交云金子支

日交云金子支

日交云金子支

在考之形正

日交云金子支

日交云金子支

日交云金子支

日交云金子支

日之文全... 馬田甲...

日之文全... 海井...

日之文全... 酒井...

日之文全... 朽木...

日之文全... 朽木...

日之文全... 朽木...

日之文全... 朽木...

日之文全... 朽木...

日之文全... 朽木...

日之文全... 朽木...

日之文全... 朽木...

日之文全... 朽木...

日之文全... 朽木...

日之文全... 朽木...

日之文全... 朽木...

回文多令人少致

与色

山寺寺左馬所依

回文多令人少致

在寺堂後寺

回文多令人少致

成順年人心

尾路表
於七日

回文多令人少致

水野七依子

回文多令人少致

但不抄之科紙双末那也然古 作舟

在右尾路子

回文多令人少致

但令屏風二双那也然古 作舟

但喜色多初札也 和泉中定也末字

書付也

京坊不日代

酒井若穂子

津刀 代金 字子致

小鶴記

今七枚
少腹又

寺社奉行

松平仙若也

出目付

久貝因幡也

出目付

池田揚鷹也

出目付

石谷因幡也

出目付

杉平出雲也

右領後新内一件吉村兼松列宛書札五枚

七枚

十五

石谷因幡也

右領後新内一件吉村兼松列宛書札五枚

作書

外國浪浅目方七五八七五七五合記之方通用

換抄浪浅目方七五八七五七五合記之方通用

尤浪浅目方七五八七五七五合記之方通用

法了

右領通

○就清和天皇御所
御下
御下

廿九日 南部丹波守城主格 賜香資於松平親松

講武所用褒賜者三人 道路禮讓令。

一 南部丹波守 南朝正徳守

丹波守多移成内内外 故子元常公助

以爲其年未出程 亦勅令并別修

只云云地之程云 作付云

上使加納守云

沼平叔 杉平親松
右同氏跡居長門守卒去月乃古香奠
沙書云

一 時辰記

出第守居 大目付
久貝國信守
池田甲斐守

松平石見守
此守居守 至守
後武所居 松平守居

出先子

男谷精一郎

甲村之斗

出後番

杉平源太史

出能方

甲村四郎太史

井上左太史

出後改

森川之太史

二在番

一色仁左太史

出先

織田清吉

出先子

服部平六

右邊武所出用出結出物

卷物

一色仁左太史

服部平六

右邊武所出用出結出物

此年と事の進出相立議合不似法

年と事の進出相立議合不似法

國々々の出府内を卯辰多岐左内
長官又ハ士分以テ者も方々右内
の最も回極赤心極意の在りて我
之故を以テ極意の也
右通市中西道中相解るる或家
のありとも回極赤心極意の在りて
之極意の在りて
右通市中西道中相解るる或家

山目

津親院極二十四出急出法事付出香奠
天澤院極 白根極
濱姫君極
末姫君極
味光院極
御順院極
精進君極

一 本月内... 申香莫... 杉杉平伊...

晦日 少役被令者一人 講武所出用... 賞金

一 井上源次郎

右 比井

時服外 列在卷物三

中矣活中世

古 波 大陽寺

右 傳 或 所 出 用 也 杉 杉 平 伊 孫 丹 新 出 用 為 為 杉 杉 平 伊 孫 丹 新 出 用 為 為 杉 杉 平 伊 孫 丹 新 出 用 為 為

